

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

木質バイオマスボイラの新設プロジェクト

排出削減事業者名：大林産業株式会社

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	大林産業株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	佐山事業所製材工場
住所	山口県山口市佐山 3-47 (山口テクノパーク内)
排出削減事業共同実施者 (J-クレジット保有予定者)	
排出削減事業 共同実施者名	株式会社 F T カーボン
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

木質バイオマスボイラの新設プロジェクト

2.2 排出削減事業の目的

木質バイオマスボイラ 1 基を新設する。木質バイオマスを使用することによって、CO₂ 排出量を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO₂ を実質的に排出しないものとみなされるため、バイオマスボイラを導入しなかった場合に想定される灯油ボイラに比べて、CO₂ 排出量を大幅に削減する。

2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

- ①バイオマスボイラの蒸気の比エンタルピーのモニタリング方法・根拠資料
(変更前) 蒸気圧メーターの計測データを用いて計算
(変更後) 蒸気圧力の管理値を用いて計算
- ②バイオマスボイラ給水量の QA/QC 手順
(変更前) ボイラ担当者が、給水メーターの計測結果を記録する。
(変更後) ボイラ担当者が、給水メーターの計測結果 (0:00 時点) を記録する。

③給水の比エンタルピーの QA/QC 手順

(変更前) ボイラ担当者が、給水温度を記録する。

(変更後) ボイラ担当者が、給水温度 (0:00 時点) を記録する。

④ベースライン灯油ボイラ効率の QA/QC 手順

(変更前) カタログ値を用いるため、品質管理 (QA/QC) は必要ない。

(変更後) 排出削減事業計画の数値を用いる。

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2012年3月8日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2015年10月1日 ~ 2017年3月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001-A	ボイラーの新設

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は採用しない

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない

4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

バイオマスボイラ及びボイラから蒸気の供給を受ける設備

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合、) 変更理由
W _{PJ}	バイオマスボイラ給水量	t	11,760.6	給水メーターによる計測データ	変更なし
B _{PJ}	バイオマスボイラのブロー率	%	10.79	水質分析報告書に基づく管理値	変更なし
H _{steam,PJ}	バイオマスボイラの蒸気の比エンタルピー	GJ/t	2.762(0.70MPa)	蒸気圧力の管理値を用いて計算	QA/QC手順の記載と同様とした
H _{water,PJ}	バイオマスボイラの給水の比エンタルピー	GJ/t	0.213(51度)	温度計の計測データを用いて計算	変更なし
ε _{BL}	ベースライン灯油ボイラ効率	%	90.25 (高位発熱量)	カタログ値	変更なし
CF _{fuel,BL}	灯油の単位発熱量あたりのCO ₂ 排出係数	tCO ₂ /G J	0.0686	J-クレジット制度のデフォルト値	変更なし

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
EM _{PJ}			0.0 (t-CO ₂)

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
11,760.6 (t)	2.762 (GJ/t)	0.0686 (tCO ₂ /GJ)	
10.79 (%)	0.213 (GJ/t)		
90.25 (%)			
EM _{BL}			2,033.6 (t-CO ₂)

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	2,033.6
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	0.0
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	2,033

7 省エネルギー量

本事業は、再生可能エネルギーを利用するプロジェクトのため、省エネルギー量はない。

8 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2015年10月1日 ~ 2017年3月31日)		
	エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (実績)	原油換算 (実績)
バイオマス熱利用量	36,120 GJ	36,120 GJ	931.9 kL